



2021年5月14日

各位

会社名	株式会社リンガーハット
代表者名	代表取締役社長兼CEO 佐々野 諸延 (コード：8200、東証第1部、福証)
問合せ先	常務取締役 小田 昌広 (TEL. 03-5745-8611)

(訂正・数値データ訂正)
「2021年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2021年4月14日に公表いたしました「2021年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」について、訂正が必要となりましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データを送信いたします。なお、訂正箇所には、下線を付して表示しております。

記

1. 訂正の理由

「2021年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の公表後にサマリー情報、経営成績等の概況、連結財務諸表及び主な注記に記載の誤りが判明したため、訂正するものであります。

2. 訂正箇所

サマリー情報

1. 2021年2月期の連結業績(2020年3月1日～2021年2月28日)
 - (3) 連結キャッシュ・フローの状況

添付資料

1. 経営成績等の概況
 - (2) 当期の財政状態の概況
 - (3) 当期のキャッシュ・フローの概況
3. 連結財務諸表及び主な注記
 - (4) 連結キャッシュ・フロー計算書
 - (5) 連結財務諸表に関する注記事項
 - (1株当たり情報)

3. 訂正内容

(サマリー情報)

1. 2021年2月期の連結業績 (2020年3月1日～2021年2月28日)

【訂正前】

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年2月期	<u>△2,611</u>	<u>△1,562</u>	<u>10,371</u>	8,348
2020年2月期	2,676	△2,954	1,018	2,208

【訂正後】

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年2月期	<u>△3,405</u>	<u>△846</u>	<u>10,449</u>	8,348
2020年2月期	2,676	△2,954	1,018	2,208

(添付資料)

1. 経営成績等の概況

【訂正前】

(2) 当期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の資産は、前連結会計年度末に比べ20億68百万円増加し357億86百万円となりました。これは主に、現金及び預金が61億39百万円増加したこと、固定資産33億59百万円減少したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ109億25百万円増加し、261億71百万円となりました。これは主に、長期借入金が103億53百万円増加したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ88億57百万円減少し96億14百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ27.9ポイント減少し26.8%となりました。これは主に、当期純損失87億46百万円を計上したことによるものであります。

【訂正後】

(2) 当期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の資産は、前連結会計年度末に比べ20億68百万円増加し357億86百万円となりました。これは主に、現金及び預金が61億39百万円増加したこと、固定資産33億57百万円減少したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ109億25百万円増加し、261億71百万円となりました。これは主に、長期借入金が103億53百万円増加したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ88億57百万円減少し96億14百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ27.9ポイント減少し26.8%となりました。これは主に、当期純損失87億46百万円を計上したことによるものであります。

【訂正前】

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ 61 億 39 百万円増加し、83 億 48 百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度では 26 億 76 百万円の収入でしたが当連結会計年度では 26 億 11 百万円の支出となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の投資活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べ 13 億 91 百万円支出が減少し 15 億 62 百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出 29 億 5 百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の財務活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べ 93 億 52 百万円収入が増加し、103 億 71 百万円の収入となりました。これは主に、長期借入による収入 131 億 7 百万円があったことによるものであります。

当連結会計年度中における、新型コロナウイルス感染症拡大による純損失の計上、ならびに財務基盤を棄損したことを受け、手元資金の拡充及び中長期的な財務基盤の速やかな安定性確保を目的として、資本性劣後ローンによる 50 億円の資金調達を実施いたしました。

また、金融機関との間に総額 50 億円の貸出コミットメント契約を締結しており、当連結会計年度末時点において全額未使用であります。

(参考) キャッシュ・フロー指標のトレンド

	2017年 2月期	2018年 2月期	2019年 2月期	2020年 2月期	2021年 2月期
自己資本比率 (%)	57.3	62.6	59.0	54.7	26.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	169.4	186.9	179.4	154.4	160.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	187.5	109.2	163.8	246.9	<u>665.2</u>
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	58.9	99.9	99.2	57.4	<u>33.0</u>

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを使用しております。

(注4) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利息を支払っている全ての負債を対象としております。

【訂正後】

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ 61 億 39 百万円増加し、83 億 48 百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度では 26 億 76 百万円の収入でしたが当連結会計年度では 34 億 5 百万円の支出となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の投資活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べ 21 億 7 百万円支出が減少し 8 億 46 百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出 21 億 88 百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の財務活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べ 94 億 30 百万円収入が増加し、104 億 49 百万円の収入となりました。これは主に、長期借入による収入 137 億 41 百万円があったことによるものであります。

当連結会計年度中における、新型コロナウイルス感染症拡大による純損失の計上、ならびに財務基盤を棄損したことを受け、手元資金の拡充及び中長期的な財務基盤の速やかな安定性確保を目的として、資本性劣後ローンによる 50 億円の資金調達を実施いたしました。

また、金融機関との間に総額 50 億円の貸出コミットメント契約を締結しており、当連結会計年度末時点において全額未使用であります。

(参考) キャッシュ・フロー指標のトレンド

	2017年 2月期	2018年 2月期	2019年 2月期	2020年 2月期	2021年 2月期
自己資本比率 (%)	57.3	62.6	59.0	54.7	26.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	169.4	186.9	179.4	154.4	160.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	187.5	109.2	163.8	246.9	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	58.9	99.9	99.2	57.4	—

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを使用しております。

(注4) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利息を支払っている全ての負債を対象としております。

(注5) キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載しておりません。

3. 連結財務諸表及び主な注記

【訂正前】

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年 3月 1日 至 2020年 2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年 3月 1日 至 2021年 2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	75,553	△7,349,503
減価償却費	1,930,877	2,064,070
減損損失	1,271,362	2,125,903
リース解約損	8,600	55,604
のれん償却額	2,429	—
株主優待引当金の増減額(△は減少)	11,258	13,239
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	48,096	49,375
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	21,349	27,981
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	2,506	89,717
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△27,038	79,265
受取利息及び受取配当金	△16,478	△15,751
支払手数料	—	314,974
支払利息	44,439	93,517
補助金収入	—	△239,789
違約金収入	—	△50,000
持分法による投資損益(△は益)	56,077	51,137
投資有価証券売却損益(△は益)	△19,163	—
投資有価証券評価損益(△は益)	8,856	—
固定資産売却損益(△は益)	△903	△784,808
固定資産除却損	112,313	186,821
売上債権の増減額(△は増加)	△349,727	154,186
店舗閉鎖損失	△9,575	—
たな卸資産の増減額(△は増加)	△60,699	46,755
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,225	△167,197
未払消費税等の増減額(△は減少)	206,466	474,166
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△222,527	196,075
その他の流動負債の増減額(△は減少)	296,600	△159,365
長期未払金の増減額(△は減少)	△1,061	771
預り保証金の増減額(△は減少)	△6,070	△11,647
その他	△32,067	56,572
小計	3,343,247	△2,697,925

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
利息及び配当金の受取額	14,921	14,407
利息の支払額	△46,654	△79,205
リース解約損の支払額	△8,600	△55,604
補助金の受取額	—	239,789
違約金の受取額	—	50,000
法人税等の支払額	△788,197	△239,398
法人税等の還付額	162,164	156,786
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,676,882	<u>△2,611,150</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,734,632	<u>△2,905,096</u>
有形固定資産の売却による収入	55,303	1,410,052
無形固定資産の取得による支出	△128,199	△15,893
建設協力金等の支払による支出	△152,541	△29,869
建設協力金等の回収による収入	119,590	350,948
投資有価証券の取得による支出	△2,768	△2,825
投資有価証券の売却による収入	30,314	—
関係会社株式の取得による支出	△48,980	—
その他	△92,598	△370,079
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,954,510	<u>△1,562,762</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	400,000	<u>△697,498</u>
長期借入れによる収入	2,903,000	<u>13,107,645</u>
長期借入金の返済による支出	△1,540,448	<u>△1,334,629</u>
社債の償還による支出	△316,000	△316,000
自己株式の取得による支出	△970	△643
自己株式の処分による収入	11,409	13,052
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	—	130,603
新株予約権の発行による収入	—	5,980
配当金の支払額	△310,929	△127,359
借入関連手数料の支払いによる支出	—	<u>△314,974</u>
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△127,403	△94,551
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,018,657	<u>10,371,625</u>
現金及び現金同等物に係る換算差額	35,989	△57,729
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	777,019	6,139,982
現金及び現金同等物の期首残高	1,431,619	2,208,638
現金及び現金同等物の期末残高	2,208,638	8,348,621

【訂正後】

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	75,553	△7,349,503
減価償却費	1,930,877	2,064,070
減損損失	1,271,362	2,125,903
リース解約損	8,600	55,604
のれん償却額	2,429	—
株主優待引当金の増減額(△は減少)	11,258	13,239
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	48,096	49,375
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	21,349	27,981
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	2,506	89,717
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△27,038	79,265
受取利息及び受取配当金	△16,478	△15,751
支払手数料	—	314,974
支払利息	44,439	93,517
補助金収入	—	△239,789
違約金収入	—	△50,000
持分法による投資損益(△は益)	56,077	51,137
投資有価証券売却損益(△は益)	△19,163	—
投資有価証券評価損益(△は益)	8,856	—
固定資産売却損益(△は益)	△903	△784,808
固定資産除却損	112,313	186,821
売上債権の増減額(△は増加)	△349,727	154,186
店舗閉鎖損失	△9,575	—
たな卸資産の増減額(△は増加)	△60,699	46,755
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,225	△167,197
未払消費税等の増減額(△は減少)	206,466	474,166
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△222,527	196,075
その他の流動負債の増減額(△は減少)	296,600	△628,507
長期未払金の増減額(△は減少)	△1,061	771
預り保証金の増減額(△は減少)	△6,070	△11,647
その他	△32,067	△268,400
小計	3,343,247	△3,492,039

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
利息及び配当金の受取額	14,921	14,407
利息の支払額	△46,654	△79,205
リース解約損の支払額	△8,600	△55,604
補助金の受取額	—	239,789
違約金の受取額	—	50,000
法人税等の支払額	△788,197	△239,398
法人税等の還付額	162,164	156,786
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,676,882	<u>△3,405,265</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,734,632	<u>△2,188,902</u>
有形固定資産の売却による収入	55,303	1,410,052
無形固定資産の取得による支出	△128,199	△15,893
建設協力金等の支払による支出	△152,541	△29,869
建設協力金等の回収による収入	119,590	350,948
投資有価証券の取得による支出	△2,768	△2,825
投資有価証券の売却による収入	30,314	—
関係会社株式の取得による支出	△48,980	—
その他	△92,598	△370,079
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,954,510	<u>△846,568</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	400,000	<u>△700,000</u>
長期借入れによる収入	2,903,000	<u>13,741,167</u>
長期借入金の返済による支出	△1,540,448	<u>△1,965,649</u>
社債の償還による支出	△316,000	△316,000
自己株式の取得による支出	△970	△643
自己株式の処分による収入	11,409	13,052
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	—	130,603
新株予約権の発行による収入	—	5,980
配当金の支払額	△310,929	△127,359
借入関連手数料の支払いによる支出	—	<u>△237,054</u>
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△127,403	△94,551
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,018,657	<u>10,449,545</u>
現金及び現金同等物に係る換算差額	35,989	△57,729
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	777,019	6,139,982
現金及び現金同等物の期首残高	1,431,619	2,208,638
現金及び現金同等物の期末残高	2,208,638	8,348,621

【訂正前】

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)		当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	
1株当たり純資産額	741.29円	1株当たり純資産額	384.24円
<u>1株当たり当期純利益金額又は</u>		<u>1株当たり当期純利益金額又は</u>	
<u>1株当たり当期純損失(△)</u>	△8.46円	<u>1株当たり当期純損失(△)</u>	△351.31円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、 <u>潜在株式が存在しないため記載しておりません。</u>	

(注) 1. 1株当たり当期純利益金額及び1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
<u>1株当たり当期純利益金額及び1株当たり 当期純損失</u>		
<u>親会社株主に帰属する当期純利益又は親会 社に帰属する当期純損失(△)(千円)</u>	△210,606	△8,746,440
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
<u>普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰 属する当期純損失(△)(千円)</u>	△210,606	△8,746,440
期中平均株式数(株)	24,889,747	24,896,641

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 2020年2月29日	当連結会計年度末 2021年2月28日
純資産の部の合計額(千円)	18,471,301	9,614,288
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	19,078	<u>19,078</u>
(うち非支配株主持分(千円))	(19,078)	(19,078)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	18,452,223	<u>9,595,210</u>
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	24,891,984	24,957,200

3. 株式付与E S O P信託口が所有する当社株式を、「1株当たり純資産」の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております(前連結会計年度 175千株、当連結会計年度 167千株)。

また、「1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前連結会計年度 176千株、当連結会計年度 171千株)。

【訂正後】

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)		当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	
1株当たり純資産額	741.29円	1株当たり純資産額	384.24円
1株当たり当期純損失(△)	△8.46円	1株当たり当期純損失(△)	△351.31円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、 <u>潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。</u>	

(注) 1. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
<u>親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)</u>	△210,606	△8,746,440
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
<u>普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(千円)</u>	△210,606	△8,746,440
期中平均株式数(株)	24,889,747	24,896,641
<u>希薄化効果を有しないため、潜在株式調整 後1株当たり当期純利益の算定に含めな かった潜在株式の概要</u>	二	<u>第1回新株予約権 新株予約権の数 9,419個 普通株式 941,900株</u>

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 2020年2月29日	当連結会計年度末 2021年2月28日
純資産の部の合計額(千円)	18,471,301	9,614,288
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	19,078	<u>24,710</u>
<u>(うち新株予約権(千円))</u>	<u>(—)</u>	<u>(5,632)</u>
(うち非支配株主持分(千円))	(19,078)	(19,078)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	18,452,223	<u>9,589,577</u>
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	24,891,984	24,957,200

3. 株式付与E S O P信託口が所有する当社株式を、「1株当たり純資産」の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております(前連結会計年度 175千株、当連結会計年度 167千株)。

また、「1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前連結会計年度 176千株、当連結会計年度 171千株)。

以上